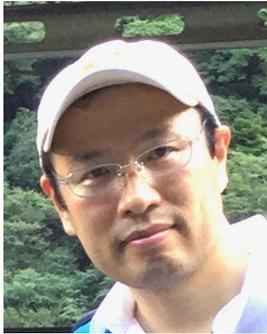


ゲノム編集法を用いたスフィンゴ脂質・糖鎖の代謝及び感染症研究



講師

山地 俊之 先生

順天堂大学薬学部

微生物・免疫学分野 教授

日付：2025年9月8日（月）

時間：16時35分～18時05分

場所：E201 教室

講演概要

ゲノム編集法の出現は糖鎖生物学の分野においても大きな貢献をもたらしている。私たちもこれまでゲノム編集法を用いて(1) 様々なウイルスや細菌毒素における宿主細胞因子の探索、(2) 糖鎖・脂質の病原体感染への影響、そして(3) 糖鎖・脂質の生合成及び細胞内輸送に関する研究を行ってきた。本コロキウムでは、ゲノム編集法の順遺伝学的手法として、志賀毒素やムンプスウイルスといった糖鎖結合性病原体・毒素に対して行ったCRISPR遺伝子ノックアウトスクリーニングについて、同定されたスフィンゴ脂質・糖鎖生合成に関与する遺伝子を中心にお話しする。またあらかじめ作製した遺伝子改変細胞（リモデリング細胞）を用いた、種々の病原体感染における糖鎖・スフィンゴ脂質の機能解析についても紹介したい。

問い合わせ先

伊藤和義：kazuyoshi@soka.ac.jp

研究所HP：<https://www.soka.ac.jp/glycan/>

